

1. (1) $\frac{6}{\times 3}$ (2) $-\frac{4}{15}$ (3) $\frac{-x+11}{6}$ (4) $\frac{1}{3}$ (5) $55a$

2. (1) $\frac{4}{11} < \frac{5}{13} < \frac{5}{12}$ (2) ③ (3) ① ② ④ (4) $b = 3m - 2a$

(5) n を整数とすると、連続する3つの奇数は小さい順に $2n+1, 2n+3, 2n+5$

と表される。もっとも小さい奇数ともっとも大きい奇数の和は、

$$(2n+1) + (2n+5) = 4n+6$$

$$= 2(2n+3)$$

$2n+3$ は真ん中の奇数なので、 $2(2n+3)$ は真ん中の奇数の2倍である。

したがって、もっとも小さい奇数ともっとも大きい奇数の和は、真ん中の奇数の2倍である。

3. (1) $x = 2 \quad y = -3$ (2) $x = -2 \quad y = -1$ (3) $x = -3 \quad y = 1$
 $\times 4$ $\times 4$ $\times 4$
 (4) $x = 2 \quad y = 1$ (5) $x = 4 \quad y = -2$
 $\times 4$ $\times 4$

4. 大人1人 800 円 中学生1人 650 円
 $\times 4$

5. (1) ① $y = 3x$ ② $y = 2x+6$ ③ $y = \pi x^2$
 $\times 2$ $\times 2$ $\times 2$

(2) あ 例 1辺の長さ い 正三角形の周囲の長さ
 $\times 2$

(3) 例 ・グラフは直線である。 ・傾きが等しいグラフは平行になる。

2点×3

・傾きがプラスのときは右上がり、マイナスのときは右下がりになる。

・切片が大きくなると上にずれる、小さくなる下へずれる。 など

6. (1) ② ④ (2) ① ④ (3) ① ②
 $\times 2$ $\times 2$ $\times 2$
 (4) ② (5) ①
 $\times 2$ $\times 2$

$$7. \begin{array}{l} (1) \quad 59 \\ \times 3 \end{array} \quad \begin{array}{l} (2) \quad 2(10a+b) - 9 \\ \times 3 \end{array}$$

$$8. \begin{array}{l} 53 \\ \times 6 \end{array}$$

$$9. \begin{array}{l} (1) \quad (7) \quad 2 \times 3^2 \times 5 \\ \times 3 \end{array} \quad \begin{array}{l} (1) \quad 7 \times 13 \\ \times 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} (2) \quad 65 \\ \times 4 \end{array}$$